

庁議の概要

開催日 令和6年10月30日(水)

◎項目

1 第3四半期の主要な取り組み、今週の動き

◎内容

1 各部署の第3四半期の主要な取り組み・今週の動き【各部署等】

〈主な協議の概要〉

○総合企画部長

令和7年度当初予算編成において「元気な未来創造枠」を創設。要求する事業について総合企画部と各部署で調整をしているが、引き続き協力をお願いする。

国の動向把握及び適切な対応について、来年度政府予算等に関する情報収集を実施しているが、各部署でも、国の経済対策の動きについて注意して欲しい。

11月12日に「濱田が参りました」民間企業編としてフクヤ建設株式会社、株式会社垣内へ、11月22日に市町村編として室戸市、12月4日に土佐清水市へ訪問予定。

11月1日にデジタル化推進本部会議を開催。この中で、来年度へのバージョンアップを見据えた施策の更なる充実について検討したい。また、情報セキュリティの確保についてであるが、情報流出事案の発生がゼロに近づくように各所属長への徹底をお願いしたい。

県中央地域（高知市近隣）の公共交通のあり方について、年内に粗の姿を描けるように取り組んでいく。

○総合企画部理事

元気な未来創造戦略、中山間地域再興ビジョンについては、いずれも4年計画の初年度であり、進捗管理をしっかりと行い、来年度に向けたバージョンアップの検討を行う。強化のポイントは若者の所得向上、小学から高校、大学までを通じた企業や地域を知る教育、転職者へのアプローチ等を含めた移住定住対策、結婚支援、共働き・子育て等である。各部署でもこれらの視点を念頭にバージョンアップをお願いする。

○総務部長

「子育てサポートプラン」の取り組みの推進について、検討会を立ち上げてプラン改定に向けて議論を進めている。これに関連して、各部署でも男性育休の推進をしていただいているところであるが、育休については、休暇取得による周囲のサポートに対して勤勉手当を加算することを検討しており、職員労働組合に提案している。

予算編成について各部署で作業をしていただいていると思うが、事業のスクラップアンドビルドについて、しっかり検討してほしい。事業担当者からはスクラップにつ

いて中々言い出せないところもあると思われるので、所属長等管理職のリーダーシップを発揮してほしい。

○健康政策部

東部地域の医療体制の確保について、安芸市の多機能支援施設の整備に向けて、看護師養成施設の運営事業者選定手続きを行う。11月6日にプロポーザル審査委員会を開催し、早めに結論を出したいと考えている。

周産期医療提供体制の確保について、今後の高知県の周産期医療のあり方について、今月末を目途に一定の方向性とその実現に向けたロードマップを示す予定。

○子ども・福祉政策部

慢性的な人材不足や介護報酬のマイナス改定等の課題がある訪問介護事業所について、本年10月1日に開設した「こうち介護生産性向上総合支援センター」において特定事業所加算の取得支援を実施。併せて、基本報酬マイナス改定の影響緩和を求める政策提言を実施予定。

南海トラフ地震対策に関して、市町村が災害弔慰金等を円滑に支給できるように、年内に支援方針を策定するとともに、支給に係る審査会の条例化を市町村に働きかける。また、能登半島地震の課題を踏まえ、年度内に有識者による検討会を立ち上げ、災害時要配慮者の避難対策について検討を始める。

○東京事務所

国や関係団体の施策や事業等に関する情報収集について、国では令和6年度補正予算、令和7年度当初予算の編成が大詰めを迎えており、東京事務所ではこれら動向についてしっかり情報収集を行い、関係部局にフィードバックしていく。

首都圏における観光や地産外商の推進について、来年4月放送予定のNHKドラマ「あんぱん」や「やなせたかし」氏のPRを関係機関と連携して実施していく。また、よさこい祭りや昨年放送の「らんまん」でつながりが深くなった品川区や練馬区、渋谷区など東京23区との連携事業も推進していく。都内の中学校では高知県への修学旅行が決定、また検討中の学校もあり、これら修学旅行を成功に導くことで他校にも広げていきたい。

○ 知事

当面は国の経済対策への対応が大きな仕事になってくると思われる。各部局で情報収集を実施していただきたい。また、国への提言についても早め実施していただきたい。

県の予算について、12月補正については2段階を想定。1段階目は通常の補正、2段階目は国の経済対策に絡めた補正予算を出していくことを考えているので、各部局では12月議会に取り込めるものは取り込んでいくという考えを念頭に情報収集と検討をしていただきたい。